

中四国で唯一の耳鼻咽喉科単科病院 として、あらゆる疾患に対応

―分院の開設に加えて新たな手術分野や最新医療機器を導入―



手術に臨む宇高理事長

堀病院は中四国で唯一の耳鼻咽喉科の単科病院である。耳鼻咽喉科の単科病院は全国的にも珍しく、その運営は決して容易ではないが、同院は耳鼻咽喉科のあらゆる疾患に対応すべく、日々努力している。



理事長・院長 宇高 毅



副理事長
分院院長 平木 信明



名誉院長 堀 興雄

同院が最も注力している治療は中耳疾患に対する鼓室形成術である。鼓室形成術は、堀名誉院長が開院から現在まで約5000例（1976年4月～2013年1月）もの手術を手掛け、新体制を迎えて、今後さらなる手術数の増加が見込まれている。

こうした新技術導入の結果、同院の年間手術件数は、2012年1～12月で250件まで増加した。「その一因に、近隣の先生方からの紹介が増えてきたこ

同院は2011年に理事長交代という大転換期を迎えた。同時に、分院の開設に加えて副鼻腔内視鏡手術や頭頸部外科手術などの新技術および最新医療機器の導入に踏み切った。「急激な変化であったため職員だけではなく、患者さんの一部も戸惑ったようだが、なんとか無事乗り切った」と宇高新理事長は語る。

慢性副鼻腔炎（ちくのう症）では、初期には薬物治療で対処し、改善に乏しいケースには副鼻腔内視鏡手術も選択する。また鼻アレルギーに対しても、一般的な薬物治療だけでなく、手術治療も積極的に実施している。中でも、現在力を入れているのは、後鼻神経切断術だ。「これは、アレルギー反応をつかさどる神経を遮断する手術法です。通常の薬物治療が無効な症例には有効な治療法です。」と平木副理事長は説明する。後鼻神経は鼻腔の後方に位置し、太い血管に併走しているため、神経のみを切断する場合、繊細で高度な技術が必要だ。「中には鼻腔内が腫れて狭くなったうえに、出血が重なるなど、かなり狭い視野での手術操作を余儀なくされる症例もあります」という平木副理事長。

とがあげられます。」と宇高理事長。こうした患者を安全に治療できるよう、同院は最新の治療機器をそろえる。そのうちの1つが、一昨年に導入されたNIMレスポンスだ。同機は顔面神経や反回神経の術中モニタリングが行え、中耳手術や頭頸部外科手術に役立つ。

同院では、こうした取り組みについて、さらなる充実を目指している。「今年度中に新病院の着工を予定しています。将来的には、診療の更なる拡充を図り、感覚器センタ―を立ち上げていくことも視野に入れていきます」と展望を語る宇高理事長。同院は「宇高理事長の目指す『小さな大病院』という目標を掲げながら、備後地区における耳鼻咽喉科診療の中核を担うため、高い技術と充実した最新機器で、質の高い治療の提供を日々追求し続けている。」取材/山本司



病院外観

平成26年に新病院がオープン予定



INFORMATION

医療法人 興花会 耳鼻咽喉科 堀病院
診療科目: 耳鼻咽喉科、気管食道内科
受付時間: 月・木 9:30～18:00
火・水・金 8:30～18:00
土 9:00～12:00
病床数: 39床
〒720-0825 広島県福山市沖野上町3-4-13
TEL.084-926-3387
<http://www.hori.or.jp/>

医療法人 興花会 耳鼻咽喉科 東手城医療
診療科目: 耳鼻咽喉科、アレルギー科
受付時間: 月・火・木 9:00～12:00/15:00～18:00
水・土 9:00～12:00
TEL.084-983-3341
<http://www.healthcare-mall.jp/shisetsu/higashishiro.html>



分院外観